

舞花果
埼玉県加須市
宮内 誠一 61

外橋のような実が
薄しに鉛色に
ついている

しみにしていて椋鳥
の鳥雀の皆さん方が
沢山見えるから
鐘りのおやつを
しましよ

子は残してほしいと
か言った
花果には一輪の
すら無いが実を熟す
少女のやさしさを
保持っている

(運者 新川和江)

アイアイが上地を活かす

高松建設
TakaMatsui

高松建設 検索

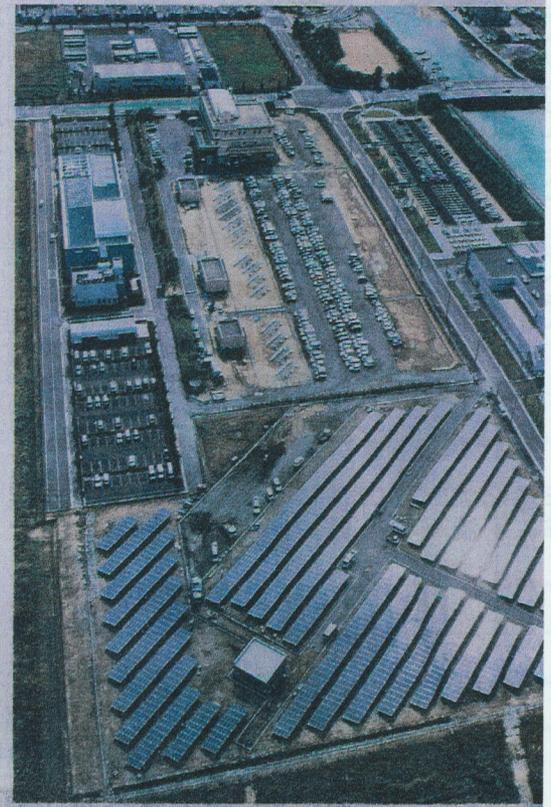
0120-53-8101

メガソーラー 関西でキラリ

関西各地で、大規模太陽光発電（メガソーラー）事業が進んでいる。

「環境立島」を目指す兵庫県淡路市では、市庁舎周辺に三洋電機製のパネル約5022枚の設置を来月上旬に完了し、11月中旬には、国内の公共施設としては最大級の1メガワット（千キロワット）の出力で運転を開始する予定一写真（本社ヘリから、門井聡撮影）。スギの人工林約42万平方メートルが吸収する二酸化炭素量に匹敵する年間330トンの排出量削減効果が見込めるといふ。

このほか、堺市西区の大阪湾臨海部では、関西電力が建設中の約1万キロワットのメガソーラーの一部が完成し、来月5日からは2850キロワットの運転を開始。また、大阪府岬町でも東京電力と豊田通商の共同出資会社によるメガソーラーの建設が計画されている。



日本人登山家3人不明

ネパール・ヒマラヤにある世界第7位の高峰ダウラギリ（8167メートル）で28日、日本人男性登山家7人と複数のネパール人シェルパから成る登山隊が雪崩に巻き込まれ、日本人3人とネパール人のシェルパ1人が行方不明になったことが29日、分かった。在ネパール日本大使館や登山ガイド



水異変

第2部 水道事業の危機

10人ほどの作業員が見守る中、地下に埋まった直径約60センチの水道管が、ゆっくりとシヨベルカーにつり上げられて姿を現した。茶色に深く錆びつき、泥にまみれた管は、まるで不発弾のようにもみえる。

記録的な猛暑に入る直前、大阪市港区の道路で行われた水道管の交換作業風景。「実際に掘ってみないと管の状態は分からんもんやけど、地盤がよかったのか、50年前の水道管にしてはきれいな方や」。現場を監督した市水道局の係長は、額に汗をにじませながら、昭和36年に敷設された古い管を見つめた。

水道管4万5000キロ 耐用年数超過

大阪市の水道事業は明治28年に始まり、今年11月で満115歳を迎える。管路網の総延長は5187キロ。広大な中国の東西距離にはほぼ匹敵する長さだ。地方公営企業法施行規則では、水道管の法定耐用年数は40年とされる。この「寿命」を超える管は、大阪市では総延長の3割近くにあたる約15000キロ、全国では地球1周（約4万キロ）を超える約4万5000キロに達するといわれる。

法定耐用年数については、減価却費を毎年計上するための経理上の便宜的な数値で、現在敷設で主流となっている防食対策を施した管なら60～80年もつという。

しかし、高度経済成長期に設置された水道管が次々と耐用年数を超える一方、自治体の水道局は軒並み財政難で、管の交換もままならないことを考えれば、やはり危機的状況といわざるを得ない。毎年総延長の約60％の交換を進めているという大阪市の、むしろ積極的に取り組んでいる部類に位置づけられる。

大阪市でも今年7月、住之江区で歩道下の水道管が破裂し、道がプールのようになり水浸しになった。市水道局によると、昭和16年に埋設された鉄管で、約70年が経過していたという。

水道事業者のうち、東京都水道局のような大規模事業体には、高い処理技術を武器に海外市場への参入を目指すような新しい動きもある。しかし、国内事業者の8割超は給水人口5千人以下の「簡易水道事業者」で、どこも慢性的な資金不足に頭を悩ませている。

水道管更新は10年後にピークを迎え、総費用は120兆円とも推計されるが、明確なビジョンは立たないままだ。これまで不発弾のように地下に眠っていた水道事業の「ほころび」が、時限爆弾のようにな重くのしかかっている。

人間の暮らしの根幹となる水をつかさどるわが国の水道事業に、崩壊の兆しが出ている。ハード、ソフト両面で危機に立つ水道事業の「異変」を見つめる。

部長から業務日誌の任意提出を受け、慎重に内容を精査。佐賀前副部長と大坪弘一後、佐賀前副部長が前田容から書

高松建設
TakaMatsu
高松建設 検索
0120-53-8101

新日時を改竄した動機について「立証に邪魔な証拠を消したかった」といった趣旨の供述をしていることが30日、関係者への取材で分かった。最高検は、前田容疑者が違法手段を使ってでも厚生労働省元局長の村木厚子さん(54)無罪確定の公判を有利に進めようとしたとみている。

最高検によると、前田容疑者は昨年7月13日、厚生労働省元局長の上村勉被告(41)が公判中のFDに保存された偽造証明書の最終更新(29面に関連記事)を業務官に指示し、FDの正規の最終更新日時を記載した捜査報告書を作成させていた。しかし、捜査報告書が前田容疑者に知らされることはなかったという。



↑ 平壤の錦繍山記念宮殿広場で、新たに選出された朝鮮労働党中央機関のメンバーらとともに記念写真に納まるジョンウン氏 (共同)
④金正日総書記(前列右端)と記念写真に納まる新たに選出された朝鮮労働党中央機関のメンバー (朝鮮中央通信 共同)

水異変

第2部 水道事業の危機

■ 2

人々の暮らしに欠かせない水道の料金は、本来「最たる公共料金」であり、公平・平等であることが前提のはずだ。しかし実際には、住む地域によって驚くべき格差がある。

一般家庭での平均的な使用料にあたる月20立方メートル(口径20センチ、今年4月現在の料金と比較すると、全国で一番高いのは熊本県宇城市・旧三角町地区の1万2600円。最も安いのは、山梨県笛吹市・旧芦川村地区の840円。その差は実に15倍だ。

32円とほぼ2倍になった。「水源を、地下水のくみ上げからダム受水に換えたため」(水道局)だという。

に、宇城市の担当者は「浄水施設が十分でない地区で、投資にお金がかかってしまい、水道料金に転嫁せざるを得なかった」と打ち明ける。

「住民不在」ともいっべき水道料金の異常な高騰や値上げ。背景に、水道事業の構造的な欠陥が透けて見える。

に、1年で料金が驚くほど跳ね上がった例もある。山形県松山町(現酒田市)では平成13年、水道料金は、かかった費用を6761億円。支払い利息は年

約3千億円にも上る。今後、少子高齢化が進めば、どうしても水道料金は上げざるを得なくなる。事業者の無策が少なれば収入が少なくなるため、住民が節水を心がければ逆に料金が上がるという矛盾もはらむ。

改善されていない」。服部代表は厳しく指摘する。日本では地方公共団体が経営する水道事業者は、20年現在で2244団体。全国の市町村の数(1788)よりも多い。一方、地方公営企業年鑑によると、同年の借金残高は総額9兆

最近、水道水をペットボトルなどに詰めて売る事業者が増えてきた。日本水道協会によると、水ジャーナリストの橋本淳司氏は「水道料金を上げるときに、水道水の質に不満を持っている。値上げができない。値上げを目的に、安全でおいしいという

全国で現在、100近くのブランドがある。大阪市水道局が19年3月から販売を開始したペットボトル水「ほんまや」は、21年度に25万本も売れた。水道局は「くせのないまろやかな風味が特徴」とアピール。売り上げ全国一を目指している。また、宮崎県延岡市の「天下

無計画な整備 利用者につけ